三菱電機　一体空冷式コンデンシングユニットインバータＲ４１０Ａ

異常（メンテ）コード猶予コード					異常項目	意味・検知手段	要因	チェック方法及び処置
Eコード	M-NETコード	詳細コード	Eコード	M-NETコード				
Ｅ００	４１１５	－	－	－	電源異常 <電源同期信号異常>	（１）電源投入時に電源周波数が判定できない	（ｉ）電源異常	電源用端子台ＴＢ１の電圧チェック
							（ii）ノイズフィルタ不良 ｺｲﾙ（Ｌ１～Ｌ３）不良 基板不良	コイル接続状態確認 コイルが断線していないか確認 ＣＮ02ｺﾈｸﾀ部で電圧≧180Ｖ確認
							（iii）ヒューズ切れ	制御基板ﾋｭｰｽﾞＦ01 （またはﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板Ｆ1.Ｆ2）ﾁｪｯｸ
							（iv）配線不良 ﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板ＣＮ02～ 制御基板ＣＮＡＣ間	制御基板コネクタＣＮＡＣ部で電圧≧180Ｖ 確認
							（ｖ）制御基板不良	※上記全項目が正常であり、電源投入後も異常が継続していれば、制御基板不良
Ｅ０１	４１０２	００１	－	－	欠相異常	（１）電源投入時に電源（Ｒ相．Ｓ相）の欠相状態を検知した場合 （２）運転中にＴ相の電流値が所定範囲外であることを検知した場合 （注）電源が欠相の場合でも電源電圧の回り込み等により欠相異常を検知できないことがあります。	（ｉ）電源異常 電源欠相 電源電圧低下	電源用端子台ＴＢ１の入力電圧確認
							（ii）ノイズフィルタ不良 ｺｲﾙ（Ｌ１～Ｌ３）不良 基板不良	コイル接続状態確認 コイル断線確認 ＣＮ02ｺﾈｸﾀ部で電圧≧180Ｖ確認
							（iii）配線接続不良	制御基板ｺﾈｸﾀＣＮＡＣ部で電圧≧180Ｖ確認 180Ｖ未満であればﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板ＣＮ02～制御基板ＣＮＡＣ間配線接続状態確認 ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板のＣＴ3にﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板のＴＢ23～ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板のＳＣ-Ｔ間の配線が貫通しているか確認
							（iii）ヒューズ切れ	制御基板ﾋｭｰｽﾞＦ01（またはﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板のＦ1.Ｆ2）が切れていないか確認 →ﾋｭｰｽﾞが切れている場合ｱｸﾁｭｴｰﾀの
							（iv）ＣＴ3不良	圧縮機が運転した後に本異常を検知する場合は、ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板交換
							（ｖ）制御基板不良	上記でなければ制御基板交換
Ｅ０４	４１０６	－	－	－	自電源ＯＦＦ異常 （給電検知異常）	（１）伝送電源出力不良	（ｉ）配線不良 （ii）伝送電源が過電流を検知して、電圧を出力することが出来ない。 （iii）伝送電源が故障しているため、電圧を出力することが出来ない。 （iv）伝送電圧検出回路の故障	同一冷媒回路系の全ての室外ﾕﾆｯﾄに対して以下を確認 ａ）室内ﾕﾆｯﾄの電源を遮断し、ＴＢ3.ＴＢ7から配線をはずした後、再度電源を投入してから120秒後、各々25Ｖ以上出力されているか確認。このとき、制御基板の給電切替ｺﾈｸﾀをＣＮ41にさしている場合はＴＢ7には電圧は出力されません。 ↓ﾁｪｯｸａ）で電圧が出力されない場合 ｂ）制御基板と伝送電源基板間を接続しているＣＮ102、ＣＮＳ2、ＣＮＩＴが正しく接続されているか確認。
						（２）伝送電源受電不良	1台の室外ﾕﾆｯﾄが給電を停止したが、他の室外ﾕﾆｯﾄが給電を開始しない。	ﾁｪｯｸａ）、ｂ）で電圧が出力されない場合は制御基板と伝送電源基板の故障 ↓ﾁｪｯｸａ）、ｂ）で電圧が出力された場合 ｃ）室内外および集中系伝送線がｼｮｰﾄしていないか確認。 ｄ）集中系伝送線と室内外伝送線の接続を間違えていないか確認。 ｅ）集中系伝送線に給電しているﾕﾆｯﾄが1台だけか（ｺﾈｸﾀＣＮ40に差し換えた室外ﾕﾆｯﾄまたは給電装置が1台だけか）を確認。 給電装置あるいは他に室内系に給電（伝送電源基板のＬＥＤ1が点灯）している室内ﾕﾆｯﾄがないか確認。
Ｅ０５	１１０２	００１	Ｅ０５	１２０２	吐出昇温防止保護作動	（１）運転中にｻｰﾐｽﾀ<吐出管温度>が120℃を検知すると、ﾕﾆｯﾄを一旦停止し、3分再起動ﾓｰﾄﾞとなり、3分後に再起動する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。 （２）ﾕﾆｯﾄ停止から30分以内に再度120℃以上を検知することを2回繰り返すと、異常停止し異常ｺｰﾄﾞを表示する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。 （３）ﾕﾆｯﾄ停止から30分以降に120℃以上を検知した場合は1回目の検知となり、上記（１）と同一の動作となる。	（ｉ）ｶﾞｽ漏れ、ｶﾞｽ不足	サイトグラス確認、冷媒の追加
							（ii）過負荷運転	運転ﾃﾞｰﾀの確認　吸入ｶﾞｽ温度の確認
							（iii）電子膨張弁の作動不良	ＬＥＶの作動確認　ＬＥＶ入出口の温度確認 （ＬＥＶ開度固定ﾓｰﾄﾞ使用）
							（iv）操作弁類の操作不良	操作弁類の全開を確認
							（ｖ）ファンモータ不良 ファンコン不良	ファンの点検 「設計工事サービスマニュアル」参照
							（vi）ｻｰﾐｽﾀ（吐出管温度）不良	センサの取込み温度をデイップスイッチ表示機能により確認 サーミスタの抵抗値確認
							（vii）制御基板のｻｰﾐｽﾀ<吐出管温度>入力回路異常	同上
Ｅ０６	１３０１	－	Ｅ０６	１４０１	低圧圧力センサ異常	（１）圧力ｾﾝｻ<低圧>がｵｰﾌﾟﾝ、またはｼｮｰﾄを検知した場合（1回目の検知）、圧縮機を停止し3分再起動ﾓｰﾄﾞとなり、3分後に再起動する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。 （２）ﾕﾆｯﾄ停止から30分以内に再度ｵｰﾌﾟﾝまたはｼｮｰﾄを検知することを2回繰り返すと、異常停止する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶し、異常ｺｰﾄﾞを表示する。	（ｉ）圧力センサ<低圧>不良	「設計工事サービスマニュアル」参照
							（ii）センサ線の被覆破れ	被覆やぶれの確認
							（iii）コネクタ部のピン抜け	コネクタ部のぴん抜けの確認
							（iv）センサ線の断線	断線の確認
							（ｖ）制御基板の低圧圧力入力回路不良	センサの取込み圧力をデイップスイッチ表示機能により確認
							（vi）ｶﾞｽ漏れによる圧力の低下	圧力をゲージマニホールドなどにより確認
Ｅ０７	５１０１	－	Ｅ０７	１２０２	サーミスタ <吐出管温度>異常	（１）運転中にｻｰﾐｽﾀのｼｮｰﾄ（高温取込）またはｵｰﾌﾟﾝ（低温取込）を検知するとｻｰﾐｽﾀ異常とする。この時異常ｺｰﾄﾞを表示し、異常ｺｰﾄﾞを記憶する。他のｾﾝｻによる代用運転が可能な場合、自動的に運転を継続する。	（ｉ）サーミスタ不良	サーミスタの抵抗確認
Ｅ１０	５１１２	－	Ｅ１０	１２４３	サーミスタ <圧縮機ｼｪﾙ油温>異常		（ii）リード線のかみ込み	リード線のかみ込みの確認
							（iii）被覆破れ	被覆やぶれの確認
							（iv）コネクタ部のピン抜け接触不良	コネクタ部のぴん抜けの確認
							（ｖ）断線	断線の確認
							（vi）基板のサーミスタ入力回路異常	センサの取込み温度をデイップスイッチ表示機能により確認
Ｅ１１	１５００	００１	－	－	液バック保護1	（１）吐出ｽｰﾊﾟｰﾋｰﾄ20Ｋ以下かつｼｪﾙ下ｽｰﾊﾟｰﾋｰﾄ10Ｋ以下かつ吸入ｽｰﾊﾟｰﾋｰﾄ5Ｋ以下を30分連続検知した場合に異常停止する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶し、異常ｺｰﾄﾞを表示する。 （２）ｼｪﾙ下ｽｰﾊﾟｰﾋｰﾄが10Ｋ以上または圧縮機ｼｪﾙ油温が0℃以上を検知すると運転を復帰する。 （３）圧縮機ｼｪﾙ油温が-15℃以下を1時間検知した場合異常ｺｰﾄﾞを表示する。（圧縮機運転は停止しません。）この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。	（ｉ）負荷側不良	膨張弁の開度不良や感温筒取付不良、電磁弁<液>不良、ﾌｧﾝﾓｰﾀの故障、熱交の詰まりﾌｧﾝ遅延時間等の運転状態を確認
Ｅ１１	１５００	００２	－	－	液バック保護2		（ii）サーミスタ不良 ＥＮ75,98,110Ｂ（ＴＨ1,ＴＨ2,ＰＳＨ,ＰＳＬ） ＥＮ150,185,225,260,300,335Ｂ（ＴＨ1-1～3,ＴＨ2-1～3,ＰＳＨ,ＰＳＬ）	主要電気回路部品の故障判定方法 「設計工事サービスマニュアル」参照
							（iii）ｻｰﾐｽﾀ取付不良 ＥＮ75,98,110Ｂ（ＴＨ1,ＴＨ2,ＰＳＨ,ＰＳＬ） ＥＮ150,185,225,260,300,335Ｂ（ＴＨ1-1～3,ＴＨ2-1～3,ＰＳＨ,ＰＳＬ）	サーミスタ・圧力センサの取付位置確認
						（４）ｼｪﾙ下ｽｰﾊﾟｰﾋｰﾄが10Ｋ以上または圧縮機ｼｪﾙ油温が0℃以上を検知すると異常ｺｰﾄﾞ表示を解除する。	（iv）ﾒｲﾝ基板のｻｰﾐｽﾀ入力回路不良 ＥＮ75,98,110Ｂ（ＴＨ1,ＴＨ2,ＰＳＨ,ＰＳＬ） ＥＮ150,185,225,260,300,335Ｂ（ＴＨ1-1～3,ＴＨ2-1～3,ＰＳＨ,ＰＳＬ）	センサの取込み温度・圧力をデイップスイッチ表示機能により確認
Ｅ１２	１１４３	－	－	－	高油温異常	（１）運転中にｻｰﾐｽﾀ<圧縮機ｼｪﾙ油温>が85℃以上を5秒間連続検知すると圧縮機を停止し3分再起動ﾓｰﾄﾞとし、異常ｺｰﾄﾞ表示する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。 （２）ﾕﾆｯﾄ停止から3分以降にｻｰﾐｽﾀ<圧縮機ｼｪﾙ油温>が75℃以下を検知すると運転を復帰する。	（ｉ）ｶﾞｽ漏れ、ｶﾞｽ不足	低圧、サイトグラス確認、冷媒の追加
							（ii）過負荷運転	運転ﾃﾞｰﾀの確認　吸入ｶﾞｽ温度の確認
							（iii）操作弁類の操作不良	操作弁類の全開を確認
							（iv）圧縮機油量が多い	圧縮機油量の確認
							（ｖ）サーミスタ<圧縮機ｼｪﾙ油温>不良	センサの取込み温度をデイップスイッチ表示機能により確認 サーミスタの抵抗値確認
							（vi）制御基板のｻｰﾐｽﾀ<圧縮機ｼｪﾙ油温>入力回路異常	同上
Ｅ１４	１３０２	００１	Ｅ１４	１４０２	高圧圧力異常１	（１）運転中に圧力ｾﾝｻ<高圧>が3.95ＭＰａ以上を検知すると（1回目の検知）、圧縮機を停止し3分再起動ﾓｰﾄﾞとなり、3分後に再起動する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。 （２）ﾕﾆｯﾄの停止から30分以内に再度3.95ＭＰａ以上を検知することを2回繰り返すと、異常停止、異常ｺｰﾄﾞ表示する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。 （３）ﾕﾆｯﾄの停止から30分以降に3.95ＭＰａ以上を検知した場合は1回目の検知となり、上記（１）と同一の動作となる。	（ｉ）操作弁類の操作不良	操作弁類の全開を確認
							（ii）ｼｮｰﾄｻｲｸﾙ運転	吸込み空気温度の確認
							（iii）熱交換器の汚れ	熱交の汚れを確認
							（iv）ファンモータ不良	「設計工事サービスマニュアル」参照
							（ｖ）ファンモータコネクタ抜け	ファンモータコネクタの差込み確認
							（vi）圧力センサ<高圧>不良	「設計工事サービスマニュアル」参照
							（vii）メイン基板の圧力センサ<高圧>入力回路異常	センサの取込み圧力をデイップスイッチ表示機能により確認
							（viii）圧力開閉器<高圧>のコネクタ抜け	圧力開閉器<高圧>のｺﾈｸﾀの差込み確認 圧力開閉器<高圧>からﾒｲﾝ基板までの配線異常
							（ix）冷媒量過多	運転中の高圧圧力確認
Ｅ２１	１３０２	００３	－	－	高圧圧力異常２	（１）初めて起動する場合に、圧力ｾﾝｻ<高圧>が0ＭＰａ以下であれば1回目の検知で異常停止する。	（ｉ）試運転時の冷媒チャージ忘れ	試運転前の高圧圧力確認
Ｅ２２	５２０１	－	Ｅ２２	１４０２	圧力ｾﾝｻ<高圧>異常	（１）圧力センサ<高圧>がｵｰﾌﾟﾝまたはｼｮｰﾄを検知した場合（1回目の検知）、圧縮機を停止し3分再起動ﾓｰﾄﾞとなり、3分後に再起動する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶する。 （２）ﾕﾆｯﾄの停止から30分以内に再度ｵｰﾌﾟﾝまたはｼｮｰﾄを検知することを2回繰り返すと、異常ｺｰﾄﾞ表示し、応急運転が可能な場合、自動的に運転を継続する。この時ﾒﾓﾘに異常ｺｰﾄﾞを記憶し異常ｺｰﾄﾞを表示する。	（ｉ）圧力センサ<高圧>不良	「設計工事サービスマニュアル」参照
							（ii）センサ線の被覆破れ	被覆やぶれの確認
							（iii）コネクタ部のピン抜け	コネクタ部のピン抜けの確認
							（iv）センサ線の断線	断線の確認
							（ｖ）制御基板の低圧圧力入力回路不良	センサの取込み圧力をデイップスイッチ表示機能により確認
Ｅ２６	５１０６	－	－	－	サーミスタ <外気温度>異常	（１）運転中にサーミスタのショート（高温取込）またはオープン（低温取込）を検知するとサーミスタ異常とする。この時異常コードを表示し異常コードを記憶する。他のセンサによる代用運転が可能な場合、自動的に運転を継続する。	（ｉ）サーミスタ不良	サーミスタの抵抗確認
Ｅ３０	５１１０	００１	Ｅ３０	１２１４	ＩＮＶ放熱板温度低下/ ｻｰﾐｽﾀ回路異常（Ｃｏｍｐ）		（ii）リード線のかみ込み	リード線のかみ込みの確認
							（iii）被覆破れ	被覆やぶれの確認
							（iv）コネクタ部のピン抜け接触不良	コネクタ部のピン抜けの確認
							（ｖ）断線	断線の確認
							（vi）基板のサーミスタ入力回路異常	センサの取込み温度をデイップスイッチ表示機能により確認
							（vii）ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板不良	再運転してもＥ３０となる場合は、ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板交換
Ｅ３１	４２５０	１０１	Ｅ３１	(4350)	ＩＰＭ異常（Ｃｏｍｐ）	（１）ＩＰＭのエラー信号を検知した場合	（ｉ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係 （ii）ﾌｧﾝﾓｰﾀ異常 （iii）ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板不良	主要電気回路部品の故障判定方法 「設計工事サービスマニュアル」参照
Ｅ３２	４２５０	１０２	Ｅ３２	(4350)	過電流遮断<ＩＮＶ交流電流ｾﾝｻ>異常（Ｃｏｍｐ）	（１）電流ｾﾝｻで過電流遮断（64Ａ）を検知した場合	（ｉ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係	主要電気回路部品の故障判定方法 「設計工事サービスマニュアル」参照
Ｅ３３	４２５０	１０３	Ｅ３３	(4350)	過電流遮断<ＩＮＶ直流電流ｾﾝｻ>異常（Ｃｏｍｐ）		（ii）圧縮機への冷媒寝込み	圧縮機に冷媒が寝込んでいないか確認
Ｅ３４	４２５０	１０４	Ｅ３４	(4350)	ＩＰＭｼｮｰﾄ/地絡異常	インバータ起動直前にＩＰＭのショート破壊または圧縮機またはﾌｧﾝﾓｰﾀの地絡を検知した場合	（ｉ）圧縮機地絡 （ii）ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係 （iii）ﾌｧﾝﾓｰﾀ地絡	主要電気回路部品の故障判定方法 「設計工事サービスマニュアル」参照
Ｅ３５	４２５０	１０５	Ｅ３５	(4350)	ＩＮＶ負荷短絡異常（Ｃｏｍｐ）	インバータ起動直前に圧縮機ファンモータ短絡を検知した場合	（ｉ）圧縮機短絡 （ii）出力配線異常 （iii）ﾌｧﾝﾓｰﾀ短絡	主要電気回路部品の故障判定方法 「設計工事サービスマニュアル」参照
Ｅ３６	４２５０	１０６	Ｅ３６	(4350)	過電流遮断<ＩＮＶ瞬時値Ｓ/Ｗ>異常（Ｃｏｍｐ）	（１）電流ｾﾝｻで過電流遮断（64Ａ）を検知した場合	（ｉ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係	主要電気回路部品の故障判定方法 「設計工事サービスマニュアル」参照
Ｅ３７	４２５０	１０７	Ｅ３７	(4350)	過電流遮断<ＩＮＶ瞬時値Ｓ/Ｗ>異常（Ｃｏｍｐ）		（ii）ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ回路の作動不良	ＬＥＶの作動確認、電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ>の作動確認
							（iii）圧縮機への冷媒寝込み	圧縮機に冷媒が寝込んでいないか確認
							（iv）ファンモータ不良	ファンモータの点検
							（ｖ）ファンモータコネクタ抜け	ファンモータコネクタの差込み確認
							（vi）ヒューズ切れ	ﾋｭｰｽﾞ（Ｆ01）が切れていないかチェック
Ｅ３８	４２２０	１０８	Ｅ３８	(4320)	ＩＮＶ母線電圧低下保護（Ｃｏｍｐ）	（１）インバータ運転中にＶｄｃ≦160Ｖを検出した場合（ソフトウェア検知）	（ｉ）電源環境	異常検知時の瞬停、停電等の発生確認 各相間電圧≧160Ｖかどうか確認
							（ii）検知電圧降下	インバータ停止中にインバータ基板上ＳＣ-Ｐ1.ＩＰＭＮ端子間の電圧確認 →220Ｖ以上であれば下記確認 ａ）ＬＥＤﾓﾆﾀにより母線電圧値＞160Ｖを確認 160Ｖ以下の場合はｲﾝﾊﾞｰﾀ基板交換 ｂ）制御基板ＣＮ505電圧確認→（iii）へ ｃ）ｺｲﾙ（Ｌ1～Ｌ3）接続状態、断線確認 ｄ）ﾀﾞｲｵｰﾄﾞｽﾀｯｸ抵抗値確認 主要電気回路部品の故障判定方法「設計工事サービスマニュアル」参照 ｅ）配線接続状態確認 ﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板～ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板間 ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板～Ｃ1間 問題なければﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板交換 →220Ｖ未満であれば下記確認 ａ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板上ＳＣ-Ｐ1.ＩＰＭＮ端子への配線接続確認 ｂ）ﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板～ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板間への配線接続状態確認 ｃ）ﾀﾞｲｵｰﾄﾞｽﾀｯｸ抵抗値確認 主要電気回路部品の故障判定方法「設計工事サービスマニュアル」参照 ｄ）突入防止抵抗値確認 主要電気回路部品の故障判定方法「設計工事サービスマニュアル」参照 ｅ）ﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板交換 ｲﾝﾊﾞｰﾀ停止中にﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板上のＣＮＶＤＣ部電圧確認 →220Ｖ以上であれば下記確認 ａ）制御基板ＣＮ505電圧確認→（iii）へ ｂ）ｺｲﾙ（Ｌ1～Ｌ3）接続状態、断線確認 ｃ）配線接続状態確認 問題なければﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板交換 交換後、再運転させても同じ異常となる場合は、ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板交換 →220Ｖ未満であれば下記確認 ａ）ＣＮＶＤＣｺﾈｸﾀ接続確認
							（iii）制御基板不良	ｲﾝﾊﾞｰﾀ運転中に制御基板のｺﾈｸﾀＣＮ505にＡＣ200Ｖが印加されているか確認 →印加されていなければ制御基板ﾋｭｰｽﾞＦ01（またはＦ1.Ｆ2）を確認し、問題なければ制御基板交換
Ｅ３９	４２２０	１０９	Ｅ３９	(4320)	ＩＮＶ母線電圧上昇保護（Ｃｏｍｐ）	（１）インバータ運転中にＶｄｃ≧400Ｖを検出した場合	（ｉ）異電圧接続 （ii）ＩＮＶ基板不良 （iii）ﾌｧﾝＩＮＶ基板交換	電源端子台にて電源電圧を確認 電源に問題なければＩＮＶ基板またはﾌｧﾝＩＮＶ基板を交換
Ｅ４０	４２２０	１１０	Ｅ４０	(4320)	ＩＮＶ母線電圧異常（Ｃｏｍｐ）	（１）Ｖｄｃ≧400ＶまたはＶｄｃ≦160Ｖを検知した場合（ハードウェア検知）	Ｅ３８.Ｅ３９に同じ	Ｅ３８.Ｅ３９に同じ
Ｅ４１	４２２０	１１１	Ｅ４１	(4320)	ロジック異常（Ｃｏｍｐ）	（１）ハードウェア異常ロジック回路のみ作動した場合	（ｉ）外来ノイズ （ii）ＩＮＶ基板不良 （iii）ﾌｧﾝＩＮＶ基板不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処置」の項〔1〕と〔6〕参照
Ｅ４２	４２３０	－	Ｅ４２	４３３０	ＩＮＶ放熱板温度過熱保護（Ｃｏｍｐ）	（１）放熱板温度（ＴＨＨＳ）≧90℃を検知した場合	（ｉ）風路つまり	制御箱の放熱板冷却風路につまりがないか確認
							（ii）配線不良	ファン用配線確認
							（iii）ＴＨＨＳ不良	ａ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板ＩＧＢＴ取付状態確認（ＩＧＢＴのﾋｰﾄｼﾝｸ取付状態に問題ないか確認） ｂ）ＴＨＨＳｾﾝｻの取込値をﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁ表示機能により確認 →異常な値が表示される場合はｲﾝﾊﾞｰﾀ基板交換
							（iv）ＩＮＶ基板不良またはﾌｧﾝＩＮＶ基板不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処置」の項〔1〕と〔6〕参照
							（ｖ）ファン不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」のﾌｧﾝの運転確認、「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔5〕参照
Ｅ４３	４２４０	－	Ｅ４３	４３４０	ＩＮＶ過負荷保護（Ｃｏｍｐ）	（１）インバータ運転中に圧縮機電流＞53ＡまたはＴＨＨＳ＞80℃を10分間連続で検知した場合	（ｉ）風路ショートサイクル	ﾕﾆｯﾄ排気ｶﾞｼｮｰﾄｻｲｸﾙしていないか、ﾌｧﾝﾓｰﾀが故障していないか確認
							（ii）風路つまり	放熱板冷却風路につまりがないか確認
							（iii）電源	電源電圧≧180Ｖか
							（iv）配線不良	ファン用配線確認
							（ｖ）ＴＨＨＳ不良	ＴＨＨＳｻｰﾐｽﾀの取込み温度をﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁ表示機能により確認 →異常な値が表示される場合はｲﾝﾊﾞｰﾀ基板交換
							（vi）電源センサ（ＣＴ12,ＣＴ22）不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔2〕と〔3〕参照
							（vii）インバータ回路不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔2〕と〔3〕参照
							（viii）圧縮機不良	運転中圧縮機が異常過熱していないか →冷媒回路（圧縮機吸入温度、高圧等）確認。問題なければ圧縮機異常
Ｅ４５	５３０１	１１５	Ｅ４５	(4300)	電流センサ <ＩＮＶ交流電流>異常 （Ｃｏｍｐ）	（１）インバータ運転中出力電流実効値＜2Ａｒｍｓを10秒間連続して検知した場合	（ｉ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力欠相	出力配線の接続状態確認
							（ii）圧縮機不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔4〕参照
							（iii）ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板不良	再運転しても同じ異常となる場合はインバータ基板交換
Ｅ４６	５３０１	１１６	Ｅ４６	(4300)	電流センサ <ＩＮＶ直流電流>異常 （Ｃｏｍｐ）	（１）インバータ起動時の母線電流＜18Ａを検知した場合	（ｉ）接触不良	ＩＮＶ基板のＣＮＣＴｺﾈｸﾀとＤＣＣＴ側ｺﾈｸﾀ部接触確認
							（ii）取付不良	ＤＣＣＴ取付方向確認
							（iii）ＤＣＣＴセンサ不良	ＤＣＣＴセンサ交換
							（iv）ＩＮＶ基板不良	ＩＮＶ基板交換
Ｅ４７	５３０１	１１７	Ｅ４７	(4300)	電流センサ回路 <ＩＮＶ交流電流>異常 （Ｃｏｍｐ）	（１）インバータ起動直前に交流電流センサ検出回路にて異常値を検知した場合	（ｉ）ＩＮＶ基板不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ不良判定」の項参照
							（ii）圧縮機不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔4〕参照
Ｅ４８	５３０１	１１８	Ｅ４８	(4300)	電流センサ回路 <ＩＮＶ直流電流>異常 （Ｃｏｍｐ）	（１）インバータ起動直前にＤＣＣＴ検出回路にて異常値を検知した場合	（ｉ）接触不良	ＩＮＶ基板のＣＮＣＴｺﾈｸﾀとＤＣＣＴ側ｺﾈｸﾀ部接触確認
							（ii）ＩＮＶ基板不良	ＩＮＶ基板異常検出回路確認 「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔1〕参照
							（iii）ＤＣＣＴセンサ不良	（ii）までで問題ない場合、ＤＣＣＴ交換、ＤＣＣＴ取付方向確認
							（iv）圧縮機地絡かつＩＰＭ不良	圧縮機地絡、巻線異常確認ＩＮＶ回路の不具合確認 「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔2〕と〔3〕参照
Ｅ４９	５３０１	１１９	Ｅ４９	(4300)	ＩＰＭオープン/ＩＮＶ交流電流センサ抜け検知異常（Ｃｏｍｐ）	（１）ＩＮＶ起動直前に自己診断動作にて十分な電流検知ができない場合	（ｉ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力配線不良	出力配線接続状態確認 ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板上ＣＴ12,ＣＴ22にＵ,Ｗ相の出力配線が貫通しているか確認
							（ii）インバータ不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔4〕参照
							（iii）圧縮機不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔4〕参照
							（iv）欠相	ＩＰＭ-圧縮機間の配線接続状態を確認
Ｅ５０	５３０１	１２０	Ｅ５０	(4300)	ＩＮＶ交流電流センサ誤配線検知異常（Ｃｏｍｐ）	（１）起動直前の自己診断動作で意図した電流検知ができない場合（ＡＣＣＴｾﾝｻ取付状態が不適切であることを検知）	（ｉ）ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力配線不良	出力配線接続状態確認 ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板上ＣＴ12,ＣＴ22にＵ,Ｗ相の出力配線が貫通しているか確認
							（ii）インバータ不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔2〕と〔4〕参照
							（iii）圧縮機不良	「設計工事ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」の「ｲﾝﾊﾞｰﾀ出力関係のﾄﾗﾌﾞﾙ処理」の項〔2〕と〔4〕参照
							（iv）ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板不良	上記で問題なければｲﾝﾊﾞｰﾀ基板交換
Ｅ５１	０４０３	００１	Ｅ５１	４３００	シリアル通信 <メイン基板>異常 （Ｃｏｍｐ）	制御基板－インバータ基板 制御基板－インバータ基板のｼﾘｱﾙ通信が成立しない場合	（ｉ）配線不良	以下の配線接続状態確認 ａ）制御基板とﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板間 制御基板側 ／ ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板側 ＣＮ２ ／ ＣＮ２１ ＣＮ４ ／ ＣＮ４ ＣＮ３３２ ／ ＣＮ１８Ｖ ｂ）ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板とｲﾝﾊﾞｰﾀ基板間 ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板側 ／ ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板側 ＣＮ２２ ／ ＣＮ２１ ＣＮ５Ｖ ＣＮ４ ／ ＣＮ４
							（ii）ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板不良 ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板不良 ﾒｲﾝ基板	電源ﾘｾｯﾄしても再現する場合はｲﾝﾊﾞｰﾀ基板またはﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀ基板、またはﾒｲﾝ基板を交換
Ｅ５２	４１２１	－	Ｅ５２	４１７１	ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀ異常	アクティブフィルタを接続していない状態でアクティブフィルタスイッチがＯＮとなっているか	（ｉ）ディップスイッチ設定間違い	制御基板のディップスイッチ（ＳＷ2-10）をＯＦＦにする。
							（ii）配線不良	現地電気配線がｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀに接続されていることを確認。制御基板ｺﾈｸﾀＣＮ51,ＣＮ3Ｓ（ＣＮ3Ｄ）-ｱｸﾃｨﾌﾞﾌｨﾙﾀ間配線およびｺﾈｸﾀ部の接触を確認
						ＡＦ基板上　ＬＥＤ表示と（ＳＥＧ１）と内容 ＬＥＤ表示 ／ 内容 0 ／ ＡＣＣＴコネクタ（ＡＦ基板-ＣＮ4）抜け 1 ／ 電源過電圧（２５８Ｖ以上） 2 ／ 電源不足電圧（１６０Ｖ以下） 3 ／ 直流母線過電圧（制御母線電圧+30Ｖ以上） 4 ／ 直流母線過電圧（420Ｖ以上） 5 ／ 直流母線不足電圧（201Ｖ以下） 7 ／ ＩＰＭエラー 8 ／ 欠相／逆相 9 ／ ＡＣＣＴ誤配線 A ／ 瞬時停電 C ／ 過電流（62.5Ａｐｅａｋ以上2回連続） F ／ 周波数（同期エラー）	（iii）アクティブフィルタの異常 ＊アクティブフィルタ異常時のチェック方法および処置に関しては、アクティブフィルタに添付のアクティブフィルタ取扱説明書を参照してください。	アクティブフィルタ基板上ＳＥＧ１にて詳細内容を確認する。 ＊分解作業は、電源を切ってから10分以上待って、ＣＨＡＲＧＥ（ＬＥＤ１）が消灯していることを確認するとともに、主コンデンサの充電電圧が十分低いことを確認してから行ってください。
Ｅ６０	５１０８	－	－	－	サーミスタ<ＳＣコイル液管温度>異常	（１）運転中にサーミスタのショート（高温取込）またはオープン（低温取込）を検知するとサーミスタ異常とする。この時異常コードを表示し異常コードを記憶する。他のセンサによる代用運転が可能な場合、自動的に運転を継続する。	（ｉ）サーミスタ不良	サーミスタの抵抗値確認
							（ii）リード線かみ込み	リード線かみ込みの確認
							（iii）被覆破れ	被覆破れの確認
							（iv）コネクタ部のピン抜け接触不良	コネクタ部のピン抜けの確認
							（ｖ）断線	断線の確認
							（vi）基板のサーミスタ入力回路異常	センサの取込み温度をディップスイッチ表示機能により確認
Ｅ６２	４０１２	００２	Ｅ６２	４１５２	欠相異常（Ｃｏｍｐ）	運転中にＴ相の電流値が所定の範囲外であることを検知した場合	（ｉ）電源異常 電源欠相 電源電圧低下	電源端子台ＴＢ1の入力電圧確認
							（ii）ﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ不良 ｺｲﾙ（Ｌ1～Ｌ3）不良 基板不良	コイル接続状態確認 コイル断線確認 ＣＮ02ｺﾈｸﾀ部で電圧≧180Ｖ確認
							（iii）配線接続不調	制御基板ｺﾈｸﾀＣＮＡＣ部で電圧≧180Ｖ確認 180Ｖ未満であればﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板ＣＮ02～制御基板ＣＮＡＣ間配線接続状態確認 インバータ基板のＣＴ3ﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板のＴＢ23～ｲﾝﾊﾞｰﾀ基板のＳＣ-Ｔ間の配線が貫通しているか確認
							（iv）ヒューズ切れ	制御基板ﾋｭｰｽﾞＦ01（またはﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ基板のＦ1.Ｆ2）が切れていないか確認 →ﾋｭｰｽﾞが切れている場合ｱｸﾁｭｴｰﾀの短絡、地絡確認
							（ｖ）ＣＴ３不良	圧縮機が運転した後に本異常を検知する場合は、インバータ基板交換
							（vi）制御基板不良	上記でなければ制御基板交換
Ｅ６８	４２２０	１３１	Ｅ６８	(4320)	ＩＮＶ母線電圧低下保護（Ｃｏｍｐ）	Ｅ３８に同じ	Ｅ３８に同じ	Ｅ３８に同じ
Ｅ７０	１１０２	００２	－	－	機械式保護器 <温度開閉器>作動	１．温度開閉器<吐出> （１）温度開閉器135℃が作動した場合は異常停止し、異常コードを表示する。この時メモリに異常コードを記憶する。	（ｉ）ｶﾞｽ漏れ、ｶﾞｽ不足	サイトグラス確認　冷媒の追加
							（ii）過負荷運転	運転データ確認　吸入ガス温度の確認
							（iii）インジェクション回路の作動不良	ＬＥＶ1の作動確認　ＬＥＶ1・液噴射弁入出口の温度確認（ＬＥＶ1開度固定モード使用） （「設計・工事・ｻｰﾋﾞｽﾏﾆｭｱﾙ」参照） 電磁弁<インジェクション>作動確認
							（iv）操作弁類の操作不良	操作弁類の全開を確認
							（ｖ）ファンモータ不良 ファンコン不良	ファンモータの点検 ファンコン出力値と出力電圧の確認
							（vi）高低圧間のｶﾞｽ漏れ	電磁弁<バイパス>21Ｒ5前後の配管温度確認
							（vii）開閉器または配線異常	開閉器の故障または開閉器からメイン基板までの配線異常
							（viii）ヒューズ切れ	ヒューズ（Ｆ01）が切れていないかチェック
Ｅ７０	１３０２	００２	－	－	機械式保護器 <圧力開閉器>作動	２．圧力開閉器<高圧> （１）圧力開閉器4.15ＭＰａが作動した場合は異常停止し、異常コードを表示する。この時メモリに異常コードを記憶する。	（ｉ）操作弁類の操作不良	操作弁類の全開を確認
							（ii）ショートサイクル運転	吸込み空気温度の確認
							（iii）熱交換器の汚れ	熱交の汚れを確認
							（iv）ファンモータ不良	ファンモータの点検
							（ｖ）ファンモータコネクタ抜け	ファンモータコネクタの差込み確認
							（vi）圧力開閉器<高圧>のコネクタ抜け	圧力開閉器<高圧>のコネクタの差込み確認
							（vii）冷媒量過多	運転中の高圧圧力確認
							（viii）圧力開閉器<高圧>または配線異常	圧力開閉器<高圧>の故障または圧力開閉器<高圧>からメイン基板までの配線異常
							（ix）ヒューズ切れ	ヒューズ（Ｆ01）が切れていないかチェック
Ｅ７５	５１０７	００２	－	－	サーミスタ <吸入管温度>異常	（１）運転中にサーミスタのショート（高温取込）またはオープン（低温取込）を検知するとサーミスタ異常とする。この時異常コードを表示し異常コードを記憶する。他のセンサによる代用運転が可能な場合、自動的に運転を継続する。	（ｉ）サーミスタ不良	サーミスタの抵抗確認
							（ii）リード線のかみ込み	リード線のかみ込みの確認
							（iii）被覆やぶれ	被覆やぶれの確認
							（iv）コネクタ部のピン抜け接触不良	コネクタ部のピン抜けの確認
							（ｖ）断線	断線の確認
							（vi）基板のサーミスタ入力回路異常	センサの取込み温度をディップスイッチ表示機能により確認
Ｅ１３１	４２５５	１０１	Ｅ１３１	(4355)	ＩＰＭ異常(Ｆａｎ)	Ｅ３１に同じ		
Ｅ１３８	４２５５	１０８	Ｅ１３８	(4325)	ＩＮＶ母線電圧低下保護(Ｆａｎ)	Ｅ３８に同じ		
Ｅ１３９	４２５５	１０９	Ｅ１３９	(4325)	ＩＮＶ母線電圧上昇保護(Ｆａｎ)	Ｅ３９に同じ		
Ｅ１４１	４２５５	１１１	Ｅ１４１	(4325)	ロジック異常(Ｆａｎ)	Ｅ４１に同じ		
Ｅ１５１	０４０３	００５	Ｅ１５１	４３０５	シリアル通信 <メイン基板>異常(Ｆａｎ)	Ｅ５１に同じ		
Ｅ１６８	４２５５	１３１	Ｅ１６８	(4325)	ＩＮＶ母線電圧低下保護(Ｆａｎ)	Ｅ６８に同じ		
－	－	０５０	Ｅ１９９	７０００	ＩＰＭシステム異常 （ＩＮＶリセット）	基板のリセット回数が多い	（ｉ）温度開閉器<吐出>圧力開閉器<高圧>の回路不良	温度開閉器<吐出>、または圧力開閉器<高圧>の回路に不良がないか確認
							（ii）基板不良	基板不良がないか確認
							（iii）ノイズ	電源線などのノイズ調査
Ｅ２００	６５００	－	－	－	通信異常一括	下記参照		
－	－	－	Ｅ５３	６６００	アドレス2重定義エラー	同じアドレスのユニットが送信していることを確認した場合に検知するエラー	（ｉ）室外ユニット・室内ユニット・リモコン等のコントローラの中に同じアドレスが2台以上ある。 （ii）伝送信号上にﾉｲｽﾞが入り、信号が変化してしまった場合	Ｅ５３エラーが発生した場合は、ユニット運転スイッチにて異常を解除し、再度運転します。 ａ）5分以内に再度、異常発生した場合→異常発生元と同じアドレスのユニットを探します。 ｂ）5分以上運転しても、異常が発生しない場合→伝送線上の伝送波形・ノイズを調査します。
－	－	－	Ｅ５４	６６０２	伝送プロセッサＨ/Ｗエラー	伝送プロセッサが“0”を送信したつもりであるのに、伝送線上には“1”が出ている。	（ｉ）電源をＯＮにしたままで、室内ユニット・室外ユニットのいずれかの伝送線の配線を工事または、極性変更した場合送信データ同士が衝突したときに波形が変形し、エラーを検知する。 （ii）室内ユニットに100Ｖ電源を接続した場合 （iii）伝送線の地絡 （iv）複数冷媒系統をグルーピングする場合に、複数の室外ユニットの給電コネクタ（ＣＮ40）を挿入 （ｖ）異常発生元のコントローラ不良 （vi）伝送線上のノイズにより、伝送データが変化した場合 （vii）集中管理用伝送線に電圧が印加されていない。	
－	－	－	Ｅ５５	６６０３	ＢＵＳ　ＢＵＳＹ	（１）衝突負けオーバーエラー 伝送の衝突により送信できない状態が、4～10分間連続で発生した場合 （２）ノイズ等により、伝送線上にデータが出せない状態が4～10分間連続で発生した場合	（ｉ）伝送線上にノイズ等の短い周期の電圧が連続して混入しているため、伝送プロセッサが送信できない状態となっている。 （ii）発生元コントローラの不良	伝送線上の伝送波形・ノイズを調査します。 調査方法は、<伝送波形・ノイズ調査要領>によります。 →ノイズのない場合には、発生元のコントローラ不良 →ノイズのある場合には、ノイズ調査を行います。
－	－	－	Ｅ５６	６６０６	不正電文長エラー	基板内機器プロセッサと伝送プロセッサの間の通信不良	（ｉ）発生元コントローラの偶発的な誤作動により、データが正常に伝わらなかったために発生した異常 （ii）発生元コントローラの不良	室外ユニット、室内ユニットの電源を遮断します。 別々に電源ＯＦＦした場合、マイコンがリセットされないため、復旧しない →再度、同じ異常が発生した場合は、発生元コントローラの不良
			Ｅ５７	６６０７	ＡＣＫ無しエラー	送信後、相手からの返事（ＡＣＫ信号）がない場合に、送信側のコントローラが検知する異常 （例：３０秒間隔の再送で6回連続ＡＣＫ信号がない場合に、送信側が異常を検知する。）		
－	－	－	Ｅ６４	６６０８	応答フレーム無しエラー	応答なしエラー 送信して、相手から受信したという返事（ＡＣＫ）はあったが、応答コマンドが返ってこない場合のエラー 3秒間隔10回連続にて送信側が異常を検知する 注）リモコンに表示したアドレス・属性は、異常を検知したコントローラを示します。	（ｉ）電源をＯＮしたままで、伝送線の配線を工事または極性変更した場合送信データ同士が衝突した時に波形が変形し、エラーを検知 （ii）伝送状態がノイズ等により失敗を繰り返している （iii）伝送線配線の許容範囲オーバーによる伝送線電圧/信号の減衰 ・最遠端・・・・・200ｍ以下 ・ﾘﾓｺﾝ配線・・・・10ｍ以下 （iv）伝送線の種類アンマッチによる伝送電圧/信号の減衰 ・線径・・・・125ｍｍ以上	ａ）試運転時に発生する場合 室外ユニット・室内ユニットの電源を5分間異常同時にＯＦＦとし、再投入します。 →正常に復帰した場合は、通電のまま伝送線工事を実施したための異常検出 →再度異常発生した場合は、ｂ）項へ ｂ）左記要因の（iii）、（iv）項チェック →要因ある場合には、修正 →要因無い場合にはｃ）項チェック ｃ）伝送線上の伝送波形、ノイズを調査する。 調査方法は、<伝送波形・ノイズ調査要領>による Ｅ６４が発生している場合には、ノイズの可能性大
Ｅ２０１	７１０９	００１	－	－	接続設定エラー （コントローラ）	コンデンシングユニットからの送信に対し10分以上コントローラから応答がない	（ｉ）コントローラが通信なし設定となっている （ii）コントローラの立上げが完了していない （iii）伝送線の接続誤り （iv）伝送線の断線	ａ）コントローラの設定、立上げ完了有無をチェックする ｂ）伝送電源基板上のＴＢ３のM1-M2端子間の電圧チェック（ＤＣ２４Ｖ） ｃ）コンデンシングユニット-コントローラ間の伝送線接続チェック
Ｅ２０２	７１０９	００２	－	－	接続設定エラー （コントローラ親機重複）	コンデンシングユニットからの送信に対し複数のコントローラから応答	コントローラの設定誤り	コントローラの工事説明書にしたがい、再設定してください。
－	－	－	－	－	システム異常			
Ｅ２２０	７０００	００１	Ｅ２２０	７０００		接続台数エラー 室外ユニットへの接続台数が“0”またはオーバーしている	（ｉ）室外ユニットの室内外伝送線端子台（ＴＢ3）に接続されているユニット台数が、制限台数外となっている。 （ii）室外ユニットでの伝送線外れ （iii）伝送線の短絡	ａ）室外ユニットの室内系伝送線端子台（ＴＢ3）への接続台数が制限台数を超えていないか確認します。 ｂ）左記（ii）（iii）（iv）（ｖ）項をチェックする。 ｃ）集中管理用伝送線端子台（ＴＢ7）への伝送線と室内外伝送線端子台（ＴＢ3）を間違って、接続されていないかどうかを確認する。
Ｅ２２０	７０００	００１	Ｅ２２０	７１０２			（iv）室外ユニットの機種選択スイッチ設定が間違っている （ｖ）室外ユニットのアドレス設定ミス 同一冷媒回路系の室外ユニットのアドレスが連番になっていない	
Ｅ２２１	７０００	０１０	Ｅ２２１	７１０５		Ｅ２４０～Ｅ２４５に同じ		
Ｅ２２２	７０００	０１４	Ｅ２２２	７１１３		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２２３	７０００	０１５	Ｅ２２３	７１１３		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２２４	７０００	０１６	Ｅ２２４	７１１３		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２２５	７０００	０２０	Ｅ２２５	７１１３		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２２６	７０００	０２１	Ｅ２２６	７１１３		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２２７	７０００	０３４	Ｅ２２７	７１１７		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２２８	７０００	０３５	Ｅ２２８	７１１７		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２２９	７０００	０３６	Ｅ２２９	７１１７		Ｅ２５０～Ｅ３５５に同じ		
Ｅ２３０	７１０２	－	－	－	接続台数エラー	Ｅ２２０に同じ		
－	－	－	－	－	アドレス設定エラー			
Ｅ２４０	７１０５	００１	－	－		アドレス設定エラー 室外ユニットのアドレス設定が間違っている	（ｉ）室外ユニットのアドレス設定ミス 室外ユニットのアドレスが指定の範囲に設定されていない	ａ）室内ユニットのアドレス設定が、151～246に設定されていることを確認します。 範囲外の場合には再設定し、電源を再投入します。
Ｅ２４１	７１０５	００２	－	－				
Ｅ２４２	７１０５	００３	－	－				
Ｅ２４３	７１０５	００４	－	－				
Ｅ２４４	７１０５	００５	－	－				
Ｅ２４５	７１０５	０１０	－	－				
－	－	－	－	－	機能設定異常			
Ｅ２５０	７１１３	０１４	－	－	Ｃｏｍｐ Ｆａｎ	機能設定エラー 抵抗による機能設定エラー	（ｉ）配線不良 （ii）コネクタ部の外れ短絡、接触不良 （iii）制御基板とインバータ基板の不整合（基板交換間違い）	ａ）制御基板コネクタＣＮＴＹＰ１,４,５のコネクタ部を確認 インバータ基板コネクタＣＮＴＹＰのコネクタ部を確認 ｂ）交換した基板の適用機種を確認し、ＮＧなら正しい基板に交換 ｃ）室外ユニットの機種選択スイッチ（室外制御基板上テイップスイッチ）を確認します
Ｅ２５１	７１１３	０１５	－	－				
Ｅ２５２	７１１３	０１６	－	－				
Ｅ２５３	７１１３	０２０	－	－				
Ｅ２５４	７１１３	０２１	－	－				
Ｅ２５５	７１１３	００１	－	－				
Ｅ３５５	７１１３	００５	－	－				
－	－	－	－	－	機種未設定異常			
Ｅ２６０	７１１７	０１４	－	－		機種未設定エラー	（ｉ）配線不良 （ii）コネクタ部の外れ短絡、接触不良	ａ）制御基板コネクタＣＮＴＹＰ１,４,５のコネクタ部を確認 インバータ基板コネクタＣＮＴＹＰのコネクタ部を確認
Ｅ２６１	７１１７	０１５	－	－				
Ｅ２６２	７１１７	０１６	－	－				

その他のコード		意味	要因	チェック方法及び処置
Ｌｏ	低圧表示	低圧圧力が-0.100ＭＰａ以下であることを意味します。 であることを意味します。	（ｉ）低圧の低下 （ii）低圧センサ<低圧>異常	低圧圧力の確認 （「設計・工事・サービスマニュアル」参照） 低圧圧力センサのコネクタ抜けがないかチェック
H2	インバータ圧縮機運転周波数固定運転中	インバータ圧縮機の運転周波数を固定して運転している。	インバータ圧縮機運転周波数固定モードを使用している。	意図して運転周波数を固定していない場合は解除（Ａｕｔｏ設定）にしてください。 「ロータリースイッチ設定内容」詳細
ＦＡｎ	凝縮器用ファン出力固定運転中	凝縮器用送風ファン出力を固定して運転している。	凝縮器ファン出力固定モードを使用している。	意図してファン出力を固定していない場合は解除（Ａｕｔｏ設定）にしてください。 「ロータリースイッチ設定内容」詳細
ＬＥｕ	インバータ圧縮機電子膨張弁ＬＥＶ1（ＥＮ75,98,110Ｂ）/ＬＥＶ1～3（ＥＮ150,185,225,260,300,335Ｂ）開度固定運転中	インバータ圧縮機電子膨張弁ＬＥＶ1（ＥＮ75,98,110Ｂ）/ＬＥＶ1～3（ＥＮ150,185,225,260,300,335Ｂ）の開度を固定して運転している。	圧縮機電子膨張弁ＬＥＶ1（ＥＮ75,98,110Ｂ）/ＬＥＶ1～3（ＥＮ150,185,225,260,300,335Ｂ）開度固定モードを使用している。	意図してＬＥＶ開度をを固定していない場合は解除（Ａｕｔｏ設定）にしてください。 「ロータリースイッチによる表示・設定機能」の項参照
ｏｉＬ1	油戻し運転中	制御開始条件を満足した場合、油戻し制御を実施します。	制御内容については所定のページを参照してください。	－
ｏｉＬ2	均油運転中	制御開始条件を満足した場合、均油制御を実施します。	制御内容については所定のページを参照してください。	－
ｒＥＰ	逆相防止制御中	圧縮機の吐出・吸入圧力の逆転を防止するため圧縮機を運転中	低外気時の高圧低下など	－
ＥｂｏＦ	液バックかたより防止制御中	液バック検知条件となった場合液バック条件となった圧縮機を3分間停止します。 （ＥＮ150、185.225.260.300.335Ｂ）	液バック検知条件となっている	－

END